

大江宏の建築を 後世へ継承する

—小堀哲夫研究室の実測調査より—

会期 2025年10月3日～2026年3月14日（予定）

開館時間：10：00～17：00（入館は16：30まで）

休館日：日曜日、月曜日、祝祭日、大学が定める休日、入試期間

場所 HOSEI ミュージアム・コア（入場無料・予約不要）

所在地：東京都千代田区九段北 3-3-5 九段北校舎1階

【展示概要】

大江宏（1913–1989）は「国立能楽堂」や「法政大学 55・58 年館」などを手がけた日本近代建築の巨匠です。その系譜を継ぐ小堀哲夫（「ROKI Global Innovation Center」設計）が率いる研究室は、近年取り壊しが進む大江建築を対象に、実測調査やワークショップを通じて保存活動を行い、その魅力と新しい価値を再発見してきました。図面や模型などを通して、建築家・大江宏の世界を改めて感じ取っていただければ幸いです。

【展示物（一部抜粋）】

上：三番町共用会議所 断面詳細図

中：普連土学園 アクソメ図

下：梅若能楽学院会館 1/50 断面模型

